



# 医療連携ニュース



2020年4月号

発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター、医療連携室 TEL. 042(639)1114, FAX 042(639)1115

春暖の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2020年4月号を発行いたしました。  
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただく、一助となれば幸いです。

患者支援センター長 野川 茂、医療連携室長 角田 隆俊

## 病院長のご挨拶

東海大学医学部附属八王子病院  
病院長・呼吸器外科教授 山田 俊介



2020年4月に前任の小林義典先生の後継として病院長に就任いたしました。  
よろしくお願いいたします。

東海大学医学部附属八王子病院は2002年に地域医療を基盤とする大学病院として開設。開院当初から他の医療機関に先がけ電子カルテを導入するなど先進的な病院です。2012年に高精度な放射線治療装置を導入し放射線治療を開始。2017年に東京都がん診療拠点病院、2018年には地域医療支援病院に認定されました。

現在、最新鋭の画像診断機器を設置し、脳循環器系を中心にカテーテルを用いた血管内治療や不整脈治療。がん治療では低侵襲治療を中心とした外科治療や内視鏡治療など、八王子市、近隣の行政機関、八王子医師会や日野医師会等の会員の皆様のご支援により、多摩地域では十分な治療実績を誇るまで成長いたしました。

近年の医療変革にともない、地域を中心とした効率的で質の高い医療基盤の構築が急ピッチに進んでいます。我々も地域の中核病院の一つとして、市民の安全を守る救急医療も含めて、地域の皆様方と緊密な医療連携を保ちながら、共に貢献してまいりたいと思います。

引き続きまして皆様方のご支援賜りますようお願い申し上げます。





## 地域PFMの発展のためにアウトカム評価を

東海大学医学部付属八王子病院  
看護部長 伊藤 由美子

当院看護部の活動にご理解とご協力をいただきまして心より感謝を申し上げます。

特に、地域の医療・福祉・訪問看護施設等のご協力を賜り、当院入退院センター看護部門、各病棟から後方機能で継続医療・看護を必要とされる患者様の円滑な転院や在宅復帰の訪問医療・訪問看護では大変お世話をいただき、また顔の見える円滑な連携が確立されておりますことに感謝をしております。

看護部門においても顔の見える関係が更に発展し、この八王子周辺の特性にマッチングした地域PFM(患者フローマネジメント)デザインの促進のために皆様と活動をしてまいりたいと常に考えております。特に今年度は、これまでの地域医療連携が患者サービスに影響している点を調査・分析しアウトカムを評価できるよう計画をしたいと考えます。さらなる課題を明らかにし、共有できるよう諸活動を通して推進できることを期待しております。ご協力をよろしくお願い致します。

また、2020年度看護オープンセミナー、出前研修等による人事交流を促進していきたいと考えていますので、ご要望やご意見をいただければ幸いです。

新型コロナウイルスの早期の終息を願い、深い連携を推進できる1年でありますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 医療連携室長のご挨拶

東海大学医学部付属八王子病院  
医療連携室長・腎内分泌代謝内科教授 角田 隆俊



平素は東海大学医学部付属八王子病院との連携にご協力いただき有り難うございます。

医療連携室は2019年度に、「第10回 Hachioji Medical Conference(2019年6月:総合内科 鴨野 真弘:リウマチ性多発筋痛症と巨細胞性動脈炎の診療の実際、呼吸器内科 坂巻 文雄:肺癌化学療法の進歩)」「第11回Hachioji Medical Conference(2019年11月:産婦人科 村松 俊成:産婦人科がんの実際、神経内科 野川 茂:がんと血栓症)」を開かせていただきました。

2020年度の開催予定は「5月25日(月)19時半からの予定です。演者は①泌尿器科 座光寺秀典(小径腎がんに対する低侵襲治療について)②心臓血管外科 桑木賢次(高齢者に対する心臓外科治療の現状と今後の対策)」を予定しています。

ただし、COVID-19の状況においては開催が危ぶまれております。これまで、本連携は癌患者支援が中心課題となってきました。しかし、広範囲の疫病を目の当たりにすれば地域連携の必要性がこれにとどまらず、地域一丸となって様々な問題に対処しなければいけないことを痛感しました。今回のCOVID-19に対しても地域連携が有力な武器になる可能性があります。他にも医療安全、救急、高齢者問題と枚挙にいとまがありません。皆様のお力をお借りして有意義な連携への一助を達成できればと考えております。

今後も東海大学医学部付属八王子病院へのご指導ご支援よろしくお願い致します。





## 患者支援センター長のご挨拶

東海大学医学部付属八王子病院  
副院長・患者支援センター長・神経内科教授  
野川 茂

平素は当院との医療連携に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰様で、当院は2018年南多摩医療圏3番目の「東京都地域医療支援病院」に指定され、昨年11月京王プラザホテル八王子で盛大に「医療連携の会」を執り行うことができました。当院の紹介率、逆紹介率は各々90%、80%を上回っており、これもひとえに皆様方の暖かいご支援の賜物と感謝しております。

また、現在国内外では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応が喫緊の問題となっています。当院でも、皆様方や東京医大八王子医療センター、南多摩病院と協力して、この難敵と戦っていく覚悟ですのでよろしくお願い致します。

さて、本年度も当患者支援センターでは、入退院センター(泌尿器科教授 座光寺センター長)、医療連携室(腎内分泌代謝内科教授 角田室長)、総合相談室(皮膚科教授 松山室長)が三位一体となって、入院前を含めたPatient-oriented Flow-capacity Management、皆様方との医療連携を図って参ります。また、長年総合相談室主任を務めて参りました細金(MSW)が本院へ異動となり、後任として秋山(MSW)が昇任致しましたので、ご指導をよろしくお願い致します。

本年度、当院は東京都から「厚労省がん診療連携拠点病院」に移行致します。当センターでは、胃がん、大腸がん、肺がんなどに関して、「がん連携パス」を通じた医療連携を推進して参ります。また、好評を博している「がんサロン」は年5回、最新のがん診療をご紹介する「Hachioji Medical Conference」は年2回開催予定です。

また、当院は南多摩医療圏唯一の「東京都難病医療協力病院」であり、多摩総合医療センターと連携しながら、地域における難病診療において中心的な役割を担って参ります。本年度も皆様方には、当センターの活動に倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日(建学記念日)、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114 平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115 24時間対応  
\*受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表) 平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30